

農林大学校花きコース学生の取り組み

和歌山県農林大学校農学部園芸学科
花きコース長 神谷 桂

今回は1年生後期から花きコース学生として受ける講義の内容について紹介します。

本校園芸学科では花き、果樹、野菜の3コースが設置されています。1年生のゴールデンウィークまでは希望コースに関係なくクラスみんなが同じ授業を受けます。また実習では「一般実習」として各コースの実習を順番に体験していきます。その後、仮専攻として各コースに分かれます。最終的に夏休み明けで仮専攻から本専攻として各コースに分かれます。

紹介する講義は「専攻各論」、「園芸技術」、「プロジェクト学習」、「コース別ゼミ」の4教科です。

「専攻各論」は1年生前期で受講した「花き概論」を品目別に、生育特性や、は種から収穫、出荷調整までを更に詳しく学習します。本校では県内で栽培されている品目を中心に栽培しており「専攻各論」で学習した内容を実習で実際に栽培して知識を深めるという形となります。

「園芸技術」は資格試験対策の講義です。本校では資格取得に力を入れています。県農業協同組合連合会主催の「園芸技術員資格認定試験(花き)」、全国農業会議所主催の「農業技術検定2級(花き)」、国家試験である「技能検定(フラワー装飾)3級」の3試験の対策講義です。

「園芸技術員資格認定試験(花き)」では施肥量、農薬の希釈倍率、植栽本数等の計算、語句説明、GAP等過去の出題傾向を基に学習します。

「農業技術検定2級(花き)」も過去問を中心に学習して合格を目指します。花きコース学生が日頃学習している切り花だけでなく、苗物、鉢物等出題範囲が幅広く、学生は相当努力しています。

「技能検定(フラワー装飾)3級」は花きコース学生だけの受検となります。この試験では筆記試験と実技試験が行われます。筆記試験対策は過去の問題を中心に学習します。実技試験はリボン、花束、バスケットアレンジメント、ブートニアの作成が課題です。この対策として和歌山県技能振興センターの協力を得て5回程度講師を招いて作成練習をします。



技能検定(フラワー装飾)3級実技演習

「プロジェクト学習」はコース員全員で一つのテーマで実験や調査を行います。そのテーマは1年だけではなく先輩から受け継いで数年掛けて実施するため充実した内容となります。これまでに「コウヤマキ」、「バラ」、「トルコギキョウ」を取り上げて研究しました。講義では品目ごとの生理生態や栽培方法についてそれぞれが学習を進めます。最後の総仕上げとして12月に校内で行われる「プロジェクト発表会」で3コースで競い、最優秀のコースは更に東海・近畿ブロックの発表大会で発表します。その中で優秀な成績であれば東京で開催される全国大会に参加します。平成29年度には本校花きコースの学生が東海・近畿ブロックの代表として全国大会で発表しました。

「コース別ゼミ」は花きに関して、このJA花き情報や園芸雑誌その他の試験研究文献やインターネットで調べた内容を発表し、意見交換等を行います。

以上が花きコースの講義内容です。実習もゴールデンウィーク明けから「専攻実習」となり、それぞれの希望コースに分かれての実習となります。

花きコースでは「カーネーション」、「ユリ」、「バラ」、「スターチス・シヌアータ」、「宿根カスミソウ」、「トルコギキョウ」、「スイートピー」、「コギク」各種花壇苗等色々な品目を栽培しています。花きコース学生はそれぞれ担当する作目を決めて栽培に当たります。は種や定植はコース学生全員で行い、日頃の管理は担当者が中心に行い、それぞれ管理の進み具合を見て手伝いあいます。農産物の出荷先は近隣の農産物直売所と毎

週木曜日に行われる本校の直売市「和農市」です。

このように座学と実習との両面から学習し花き栽培の知識を深めています。



校内プロジェクト発表会